

総括

全31項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、それぞれのプランの目標の達成を目指して取り組みを進めている。その結果、目標達成に向けて克服すべき課題が残されたものもあるが、ユズの栽培技術の向上による青果出荷量、加工仕向量の増加や、地域特産品の加工施設の整備が進む等、成果も現れてきている。

商工業分野では、ふるさと納税返礼品の取り扱いの増加等によって、直販所等の売上高が増加している。観光分野では、(一社)高知県東部観光協議会の設立や、「森林鉄道からゆずロードへ」の日本遺産認定、むろと廃校水族館のオープンなど、東部地域観光の魅力向上が図られた。今後とも、市町村や関係団体、民間事業者等との連携協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進していく。

これまでの取り組みの成果等

◎各分野の取り組みの成果と今後の方向性

■農業分野

ユズについては、講習会等での栽培指導や改植事業の推進により、生産者の栽培技術や品質への意識が向上し、青果出荷量、加工仕向量の増加につながった。

また、ヨーロッパへの青果輸出も腐敗果対策等により着実に伸びている。

今後も青果及び加工仕向け用ユズの生産拡大や品質向上等に取り組みむとともに、積極的なプロモーション活動を展開していくことで、ユズの認知度向上、消費拡大を目指す。

加工品販売では、ユズ関連の市場競争が激化する中、顧客ニーズに対応するため、新商品開発等の取り組みを進めている。

■林業分野

土佐備長炭について、研修生の受入などによる新規就労者の増加や製炭窯の新たな設置により、出荷量が増加している。

今後とも、原木であるウバメガシの安定調達や研修修了者の自立支援に取組み、土佐備長炭のさらなる生産拡大と後継者の育成を図る。

■水産業分野

「芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大」の取り組みでは、加工品の販売について、製造工程の改善や営業の強化等により、売上額が増加した。

今後は、施設の老朽化対策とあわせて県版HACCPへの対応にも取り組んでいく。

■商工業分野

道の駅などの地場産品直販所においては、地場産品を活用した加工品の開発や販売の強化に取組みむとともに、ふるさと納税の返礼品の取り扱いを進め、売上高が増加してきている。

今後はさらなる売上増を目指して、店舗の狭隘対策や新商品の開発、販路拡大等に取組みむ。

■観光分野

H28年に高知県東部観光協議会が設立され、東部地域が一体となって広域観光に取組みむ体制が整備された。さらに、H29年には森林鉄道やゆずロード等を活用した交流人口の拡大の取り組みが日本遺産に認定されるとともに、H30年にはむろと廃校水族館がオープンした。

また、各施設においては、「志国高知 幕末維新博」や「自然&体験キャンペーン」を踏まえた施設の整備や体験プログラムの造成が進むなど、東部地域観光の魅力が向上している。

今後とも、地域の観光拠点となる施設整備を進めるとともに、土佐の観光創生塾や各種アドバイザーを活用した体験プログラムの造成及び情報発信に積極的に取り組んでいく。

◎地域アクションプランによる雇用の創出 (H28~H30) 3人

主な取り組み事例

農業 商工業 観光

※○囲み数字は時点を表す
例) 平成29年度 = ◎

No.1 ユズを中心とした中山間振興

地域: 室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
実施主体: J A 高知県(安芸地区)、J A 馬路村

取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 青果の生産拡大と果実の品質向上のための新種・改種の推進 青果輸出の推進 ネットポトル充填ライン等の整備 ◎
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 青果出荷受入量 ◎: 449t → ◎: 485t 加工仕向量 ◎: 4,485t → ◎: 4,793t 青果輸出量 ◎: 2.8t → ◎: 8t
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 安定生産に向けた新種、改種の推進 ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓 加工品の売上増に向けた新規顧客の獲得

No.14 地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発及び販路拡大

地域: 奈半利町
実施主体: 奈半利町、奈半利なんでも市加工グループ、(一社)なはりの郷 等

取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 農水産加工施設(奈半利のおかつ)の整備・営業開始 ◎ 水産加工施設(加領郷魚舎)の整備 ◎ 農作業受託、加工品の製造販売、ふるさと納税返礼品の集出荷、観光情報の発信
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 売上高(奈半利のおかつ) ◎: 11,917千円 → ◎: 27,645千円 (加領郷魚舎) ◎: 3,220千円 → ◎: 37,267千円
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 地域特産品の磨き上げ 新たな販路の開拓と生産の拡大 (一社)なはりの郷の事業運営体制の強化

No.18 安芸地域の観光振興の推進

地域: 安芸地域全域
実施主体: (一社)高知県東部観光協議会、安芸広域市町村圏事務組合、市町村 等

取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 東部地域観光の広報・PR活動 旅行商品の造成・磨き上げ 旅行会社へのセールス活動の展開 教育旅行等の受入体制の強化
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 圏内主要施設訪問者数(圏内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数) ◎: 2,401,821人 → ◎: 2,454,671人
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> セールス・プロモーションの強化 観光商品の造成・磨き上げの強化 組織体制の強化及び関係団体との連携推進

No.10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大

地域: 室戸市
実施主体: 室戸市、協同キラメッセ室戸(有)

取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 加工施設を活用した加工品の開発・販売 庭先集荷の開始 ◎ 内装の改修 (R元)
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 売上額 ◎: 308,334千円 → ◎: 409,969千円 来場者数 ◎: 230,887人 → ◎: 251,612人
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 加工品の開発・販売の強化 庭先集荷の強化 農産物の生産拡大に向けた取り組みの強化

No.15 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用

地域: 田野町
実施主体: 田野町、民間事業者

取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 研修施設の整備 ◎ 製塩体験を通じた交流人口の拡大 新規事業者の育成 生産用レンタルハウスの整備 (R元)
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 製塩体験受入回数 ◎: 24回 → ◎: 30回
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 体験メニューづくりや町内外へのPRの強化 研修生の自立支援

No.20 室戸市の観光資源を活かした交流人口の拡大・地域振興

地域: 室戸市
実施主体: 室戸市、室戸ジオパーク推進協議会、室戸市観光協会 等

取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 室戸世界ジオパークセンターの整備拡充 ◎◎ むろと廃校水族館のオープン ◎ 誘客に向けたイベント・企画展などの実施 ガイド内容の磨き上げ
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 室戸世界ジオパークセンター来館者数 ◎: 76,629人 → ◎: 87,318人 むろと廃校水族館来館者数 ◎: 168,333人
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 各施設による取り組みのブラッシュアップ 滞在型観光への転換に向けた施設間の連携強化

No.12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興

地域: 東洋町
実施主体: 東洋町、東洋町観光振興協会

取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 売場レイアウトの見直し(随時) 商品ラインナップの充実 集客増に向けた町外イベントへの出店やイベントの誘致
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 売上高 ◎: 141,938千円 → ◎: 168,114千円 来場者数 ◎: 157,790人 → ◎: 177,809人
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 店舗の狭隘対策の推進 地域特産品を活用した加工品開発の強化 イベント誘致の推進

No.16 道の駅「田野駅」の機能強化に向けた取り組み

地域: 田野町
実施主体: 田野町、道の駅指定管理者、加工施設指定管理者等

取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 加工品の開発や販売強化 観光情報の発信 トイレの洋式化及びWiFiの整備 ◎ 町100%出資の第3セクターによる運営の開始 (R元)
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 年間売上高 ◎: 258,729千円 → ◎: 356,155千円 年間入込数 ◎: 221千人 → ◎: 278千人
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 施設の拡張など機能強化の検討 加工品の開発及び磨き上げ

No.21 岩崎太郎や地域食材等を活用した観光の推進

地域: 安芸市
実施主体: 安芸市、安芸市観光協会、安芸「釜あげちりめん丼」楽会 等

取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> 「志国高知 幕末維新博」等の取り組みと連動した観光誘客 伊尾木洞への観光案内所等の整備 ◎ ナス料理店MAPの配付、ナスキョウガ等開発 ◎
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> 市内年間観光客数 ◎: 196,895人 → ◎: 278,442人 伊尾木洞ガイド利用者数 ◎: 2,005人 → ◎: 4,055人
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 岩崎家との繋がりをクロスアップした観光誘客 観光客の市内滞在時間の延長及び消費拡大 ナスの消費拡大、加工商品の開発・販売

第3期計画で設定した数値目標に対する評価

数値目標の達成状況について、以下により4段階評価を実施
※1つの地域アクションプランで複数の数値目標を設定したのもあるため、下記の件数と地域アクションプランの数とは一致しない

区分	数値目標に対する評価基準	件数	構成比
A+	第3期計画の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できたもの ・目標を達成したもの → 目標の達成率（または達成見込率）が100%以上	22件	35.5%
A	・目標をほぼ達成したもの → 達成率（または達成見込率）が60%以上100%未満	9件	14.5%
A-	・目標の達成に向けて十分な進展が見られなかったもの → 達成率（または達成見込率）が60%未満	17件	27.4%
B	第3期計画の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できなかったもの	14件	22.6%
評価計		62件	100%
—	実績値がまだ出ていないなどの理由で現時点の評価ができないもの、または目標の設定がないもの	2件	

主な支援策の活用状況 (①②④:H28~H30 ③:H28~H29)

① 産業振興推進総合支援事業費補助金	5事業	42,241千円
② 観光拠点等整備事業費補助金 (R元へ繰越したものの交付決定額を含む)	15事業	240,424千円
③ 歴史観光資源等強化事業費補助金	10事業	272,486千円
④ 専門家の派遣（産業振興アドバイザー事業）	13件	27回



○ボン酢等ペットボトル充填ライン
H29.11月稼働開始
地域AP No.1
H29年度産振補助金



○製塩研修施設
H30.5月オープン
地域AP No.15
H29年度産振補助金



○むろと廃校水族館
H30.4月オープン
地域AP No.20
H29年度観光補助金

課題の克服やさらなる成果の拡大に取り組む主な重点項目

項目	見えてきた課題・方向性	さらなる挑戦
No.19 日本遺産を活用した中芸地域の活性化	日本遺産の認定後、文化庁の補助金を活用して、ゆずFeS等の事業を展開してきたが、大幅な集客増には至っていない。 文化庁の補助事業が終了するR2年以降、日本遺産を活用した地域の活性化に向けて、活動の方向性を見据え、改めて戦略を策定するとともに、日本遺産協会を軸に中芸5町村や関係機関が一体となって取り組むことが必要である。	◎中芸地域が一体となり、日本遺産を活用した地域の活性化を推進する。 ・日本遺産協会の中に戦略会議を設置し、活動の方向性を見据えた戦略を策定するとともに、拠点施設（ビジターセンター）整備についてもあわせて検討 ・関係者間の情報共有の強化 ・東部観光協会等と連携した旅行商品の売り込み強化
No.20 室戸市の観光資源を活かした交流人口の拡大・地域振興	室戸世界ジオパークセンターのリニューアル（H29）やむろと廃校水族館のオープン（H30）等の効果もあり、周辺主要施設の訪問者数が増加している。また、R元年秋にはライダーズインもリニューアルされる予定である。 この好機を生かして、室戸市内への誘客をさらに促進し、経済波及効果を一層高めるためには、通過型観光から滞在型観光に転換させることが必要である。	◎関係事業者が連携し、滞在型観光への転換を推進する。 ・ジオパークや室戸ドルフィンセンター、むろと廃校水族館、ライダーズインなどの各観光施設が自らの事業をブラッシュアップ ・リニューアルされるライダーズインなど宿泊施設と各観光施設や飲食店等が連携した旅行商品の造成ならびに売り込みを推進
No.21 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進	「志国高知 幕末維新博」や「自然&体験 キャンペーン」等と連動した取り組みや、伊尾木洞、内原野陶芸館など観光資源の磨き上げにより市内年間観光客数の増加に繋がっている。 一方、観光客の消費を促す仕組みが弱く、観光客の市内周遊による滞在時間の延長や、地域産品を活用した土産物開発等が必要である。 ナスの地域産業クラスターの取り組みでは、市内飲食店でのナス料理の提供や加工品の開発・販売などナスの消費拡大が課題であり、認知度向上の取り組みや開発済みの加工品の商品化、ナスの機能性を消費拡大のPRに活かしていくことが必要である。	◎岩崎家とのつながりをクローズアップした観光誘客の促進及び体験メニューの磨き上げ等による市内滞在時間の延長 ・R2年の三菱グループ創業150周年を契機とした観光情報センターのリニューアルや新たな人の流れの形成 ・伊尾木洞や内原野陶芸館など既存の体験メニューの磨き上げや新たな体験メニューを造成し、市内周遊による滞在時間の延長を図る。 ◎ナスの消費拡大、加工商品の開発・販売 ・ナス料理を提供する市内飲食店等をHPで紹介する等認知度向上に取り組む ・「ナスギョウザ」、「ながらし油〜」等の加工品のイベント以外での販売 ・ナスの機能性（コリンエステルによる血圧低下、抗ストレス）をPRし、青果及び加工品の販売拡大に結びつける。
No.22 東洋町における体験型観光の推進	今年度、海上アスレチックを活用した新たな体験プログラムが始まるとともに、観光振興協会には新たに専任スタッフが配置される等、観光客の受入体制が強化された。 こうした取り組みを土台として、さらなる観光客の受入拡大につなげるためには、マリネジャーのみならず「山」や「川」など東洋町の魅力を生かした新たな体験プログラムの造成のほか、情報発信の強化が必要である。	◎「海」「山」「川」を生かした体験プログラムの造成とプログラム間の連携を強化する。 ・海上アスレチック等の新たな体験プログラムの造成や既存プログラムの磨き上げ ・「海」「山」「川」の体験プログラムを組み合わせたツアーの造成 ・R2年に運行が開始される予定のDMV（Dual Mode Vehicle）の活用策の検討 ・SNSの活用や関西圏のイベントへの出展等による積極的な情報発信
No.24 安田川アソビ清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化	現在の顧客ニーズに沿ったキャンプ場へと改修するため、H30年にアウトドア専門家の協力のもと、基本計画を策定した。現在、設計に着手し、イベント開催の準備や体験プログラムの開発、地域食材の提供にかかる協議等を行っている。多くの人を呼び込むためにはキャンプ場の改修だけでなく、集客力アップに向けたソフト面での各種の取り組みを加速させ、人を引きつける魅力あるキャンプ場へと磨き上げを行うことが必要である。	◎多くの人が集まる魅力的なキャンプ場とするための磨き上げを行う。 ・専門家のノウハウを活かしたスタッフ教育の実施や管理運営手法の習得 ・大手アウトドアメーカーの協力によるサービスの提供 ・独自のHP立ち上げ等による情報発信の強化 ・季節毎のイベントや体験プログラムの定番化 ・周辺のアウトドア施設等とコラボしたキャンプツアーや地域食材を活用したセット食材の販売の拡充